

4月1日号への掲載の申込みは、
2月21日(水)までに電子申請

(電子申請がご利用
いただけない場合
は、申込用紙を広報課
FAX 983・2719)



電子申請はこちら▶
(<https://logoform.jp/form/pqff/143867>)

※「電子申請」からお申込みください。

【申込みの注意事項】

- ・紙面に限りがあるため、掲載できない場合や、内容を省略する場合があります。了承のうえ、お申込みください。
- ・掲載の可否は原稿の確認の連絡をもって代えるものとし、掲載不可の場合は連絡しません。
- ・掲載基準を必ず確認し、了承のうえでお申込みください。



▲掲載基準などの詳細は
市ホームページ

文化

第1回 新興三島書作家協会展
並びに第72回 新春書道展

☎2月8日(休)～11日(日・祝) 陽生涯学習センター ㊦書道団体が新体制になって初めての展覧会。かな・漢字の書道作品を展示。同時に児童・生徒および大人の書初め作品を展示。㊦新興三島書作家協会事務局・高桑 ☎973・2688

第2回 門崎菁華かな書道教室社中展
～雅な書の世界へ～

☎2月22日(休)～27日(火)午前10時～午後6時(最終日は午後5時まで) ㊦三島プラザホテル・ギャラリープラザ ㊦かな作品を中心に漢字作品も交えた書道展。美しい料紙や短冊、色紙などに和歌・俳句・詩を書いた作品を展示します。㊦門崎書道教室・鈴木 ☎090・4445・5092

アンバーサリーコンサート
みどりの音手紙 Vol. 5

☎3月3日(日)開場:午後4時、開演:午後4時30分 ㊦市民文化会館・小ホール ㊦市内在住の音楽家「たなかみどり」とバンドによるコンサート。㊦全席指定:一般4,000円、4歳～中学生1,000円※やまがた楽器店、市民文化会館でチケット販売 ☎300人 ㊦みどり音楽工房 ☎988・4140

スポーツ・健康

楽しく素敵なおウォーキングダンス
参加者募集

☎毎週木曜日午前9時30分～11時30分 ㊦市民体育館ほか ㊦軽快な音楽のリズムに合わせて歩くゲーム感覚のスポーツです。無料体験会も実施しています。㊦月2,000円 ㊦㊦ハッピードリーム三島・中田 ☎090・4234・0560

その他

看護職のための合同就職相談会
「ナースのお仕事フェア」

☎2月24日(出)午後1時30分～3時30分 ㊦市民文化会館・大会議室ほか ㊦地域の医療機関が仕事を紹介します。再就業を考えている人、看護学生の皆さん、地域の施設を知るチャンスです。※お子様連れ歓迎 ㊦看護職免許保有者と看護学生 ㊦㊦静岡県ナースセンター ☎054・202・1761

静岡県司法書士会
司法書士による相続登記無料相談会

☎2月24日(出)午後1時～4時 ㊦三島商工会議所4階・会議室B・C ㊦4月1日より始まる相続登記の義務化に伴い、無料相談会を開催します。(要予約、1組30分) ㊦㊦2月20日(火)までに静岡県司法書士会事務局 ☎054・289・3700(土・日・祝日を除く)

三島市五十雀山歩会
新会員募集

☎毎月1回(原則月末日曜日) ㊦初・中・上級のコースがあり、年1回宿泊の特別山行をします。月に1回、下見登山・安全確認をして登山案内書を作成してます ㊦▶年会費:3,000円▶参加費実費:4,000円程度 ㊦成人 ㊦㊦三島市五十雀山歩会会長・大村 ☎090・3968・1603

ボーイスカウト三島第5団
スカウト(男女)募集

☎週末月2回程度 ㊦東本町まどろみ公園 ㊦「なろう、一人前に」を合言葉に、心身ともに健全な社会人の育成を目的とする世界的な教育運動です。見学・体験参加、また指導者候補なども随時受付 ㊦月約2,000円(別途、制服代) ㊦6～25歳※小学2年生以下は保護者同伴 ㊦㊦鈴木 ☎090・7439・2325

歴史の小箱

No.428

きまち かんのかう
木町の観音講



現在、新たな山中城のガイド事業を毎月第3日曜日に行っています。
詳細はホームページをご確認ください。 郷土資料館（楽寿園内）☎971・8228

「講」とは、信仰のために結成された集団で、伊勢神宮を参詣する伊勢講、富士山へ参詣する富士講、観音様を信仰する観音講などさまざまな講があります。

「講」は信仰のためだけでなく、近所の人々が寄合い、時には食事を共にしながら日々のあれこれをおしゃべりする、楽しみのある場でもありました。ライフスタイルの変化で各地の講はどんどん減少していますが、今も地域の人たちによって大切に歴史を重ねている講が市内にも残っています。今回はその中から、木町観音堂の観音講を紹介しましょう。

西本町四一八にある木町観音堂は東本町の言成地藏堂とともに「言成地藏」の昔話で知られるお地藏様を境内に奉安していることで有名なお堂です。「木町」とは古い町名で、今は西本

町と栄町の人々によって維持されています。ここでは昔から女性たちによる観音講が行われ、今も毎月2回、境内の掃除とお参りが続けられています。特に八月の観音講は一年でもっとも盛大に行われています。

観音講は、講中（講のメンバー）の女性たちによって開催されますが、八月の講では観音堂保存会の男性らも参加し、幟を立てたり本堂を幕で飾るなどの手伝いをします。お供え物などの用意ができれば、講のはじまりです。



▲講中の女性による読経

昨年参加した講中の女性は五人で、木魚や鳴り物を盛大にならしながらお経を唱えます。そのあとは観音堂保存会のメンバーも加わり、全員で輪になってひとつの大きな数珠を持ち、念仏を唱えながら数珠を回していきます。数珠には白い目印が結びつけてあり、それが自分のと

ころへ回ってきたら頭上に掲げます。これを十周行います。講はこれで終了です。講の後、以前は皆で酒食の席となりましたが、今は寿司折を配っています。



▲皆で大きな数珠を回す

この講は元々、家中で姑にあたる立場の女性が参加するならわしで、今参加している人たちのお姑さんが参加されていたころは、毎日のように観音堂に集まって、掃除のついでにおしゃべりを楽しみ、境内には近所の子どもたちが遊ぶ声が絶えなかったそうです。しかし次第に参加する人が少なくなり、講の存続が危ぶまれています。また、境内や本堂の維持管理費に充てていたお賽銭もめっきり減ったといえます。

みなさんの近くにも、地域の人の手で大切に守られてきた「場」が、今もあるかもしれません。

ぼくの

おばあちゃん

当番 よしだ かける

僕のおばあちゃんのすごいところがあります。
一つ目は、仕事から帰ってきたらすぐに夕飯の支度をする事です。
おばあちゃんは前日にみんながリクエストしたものを作ってくれます。特にハンバーグが好きです。チーズがはいっており、おいしいです。
二つ目は、勉強を教えてくださいるところです。わからないと言うと分かるまで教えてくれます。学校にも、やくだっています。そこがおばあちゃんのすごいところです。



吉田 如代 (7才)
吉田 翔夢 (北小六年)